

伊勢原

ISEHARA

職員採用



Q & A



TOPIC

伊勢原市役所に入りたい人が、気になることに答えます。

- 伊勢原市の特徴や事業
- 採用試験
- 職場環境や各種制度

伊勢原市役所に入りたい人が、 気になることに答えます。

伊勢原市の特徴や事業に関するQ&A

Q. 伊勢原市の強みは何ですか？

A. 伊勢原市は、東海大学医学部付属病院をはじめとする、全国有数の医療環境が整っています。また、県内有数のフルーツの里でもあり、季節に合った様々な食を楽しむことができます。

この他にも、日向溪谷や大山山麓の豊かな森、青田が広がる田園風景など、人々の心に懐かしさと安らぎを与えてくれるまちです。

一方で、都市からは1時間圏内の環境であり、近年では広域幹線道路の整備も進み、これからも便利で伸びしろのあるまちです。

Q. 今後、伊勢原市が持続的に発展するにあたり課題になりそうなことはどんなことでしょうか？

A. 近年の地方自治体を取り巻く社会環境は、人口減少・少子高齢化の更なる進展や多発する自然災害、さらには先行きが不透明な経済見通しなど、年々、厳しさを増しています。

こうした中、市民のしあわせの創造に向け、人口減少社会の到来を見据えたまちづくりや、安全・安心な暮らしの実現、まちと地域経済の活性化、都市の持続性に配慮した魅力あるまちづくり、新たな自治の確立と将来を見据えた行財政基盤の強化などが大きな課題となっています。

Q. 今、伊勢原市が、力を入れて取り組んでいることはなんですか？

A. 伊勢原市では市の総合計画において、将来都市像の実現と市の持続的な発展に向け、特に重点的かつ先導的に取り組み、相乗的な効果を発揮させるものをリーディングプロジェクトとして整理して、重点的に推進していくこととしています。

具体的には、「地域資源等を活用した健康寿命延伸プロジェクト」、「観光をエンジンにした地域経済活性化プロジェクト」、「新たな土地利用等による都市の活力向上プロジェクト」、「未来につなげる子育て環境づくりプロジェクト」の4本のプロジェクトによって、直面する諸課題にスピード感を持って対応するとともに、大きな変革期を迎える伊勢原市の環境変化を的確に捉えながら、未来につながる取り組みを進めています。

Q. 未来の自治体行政はどうなっていくと思いますか？

A. 今後、人口減少はさらに加速し、2040年頃、高齢者人口はピークを迎えます。人口減少と高齢化は、地方圏の一部の市町村ばかりでなく、指定都市、県庁所在市、三大都市圏も含めて、全国的に進行していく見込みです。こうした人口構造の変化は、基礎自治体による行政サービス提供の持続可能性にも影響を及ぼすこととなります。

公共私それぞれの人々の暮らしを支える機能が低下し、自治体は、新しい公共私協力関係を構築し、住民生活に不可欠なニーズを満たすことが求められるようになるでしょう。

自治体の職員においては、関係者を巻き込み、まとめるプロジェクトマネージャーのように活躍することが必要となり、従来の事務作業はAIやロボティクスによって処理できるようになり、新たな課題への果敢な挑戦など、職員でなければできない業務に特化していくことが重要な時代になります。

採用試験に関するQ&A

Q. インターンシップの参加は採用試験で有利になりますか？

- A. 一般的にインターンシップの参加が直接採用に結びつくことはありませんので、必ずしも有利になるとは言えません。しかし、仕事を実際に体験したり、そこで働く先輩社員と触れ合うことは、Webサイトなどでは絶対に得ることのできない貴重な財産となると思いますし、参加していただいた方のその後の職業選択の参考になるでしょう。

Q. 試験当日に困ったことが起きたら、誰に相談したらよいのでしょうか？

- A. 選考に関して困ったことが起きたら、まずは採用担当者に相談してみましょう。電車の遅延や体調不良、会場がわからないなど不測の事態は誰にでも起こるものです。困ったと思ったら、焦らず落ち着いて自分の置かれた状況をよく把握しましょう。早めの連絡をすることで何か対処できるかもしれません。もしもの時のために連絡先を控えておく安心です。

(連絡先：伊勢原市役所総務部職員課 0463-94-4873)

Q. 過去の筆記試験の問題はどこで入手できますか？

- A. 筆記試験の問題は公開していません。なお、筆記試験の内容については、採用試験に関する受験案内をご確認ください。

Q. 採用試験日が他の自治体と被ってしまったら日にちの変更はできますか？

- A. 試験日時の変更は、他の受験者との公平性の観点から原則お受けできません。

Q. 居住地や性別などによる採用試験の有利不利はありますか？

- A. 申し込みや受験に関して、そのようなことは一切ありません。受験資格を満たしていれば、誰でも受験することができます。

Q. 選考に当たって“他とはココが違う！”というポイントはありますか？

- A. 伊勢原市の採用試験では、「人物重視」の観点から一次試験を筆記試験から集団面接に変更し、書類や点数ではわからない、その人の魅力を把握するように努めています。

伊勢原市に愛着があり、社会人としてのスタートを伊勢原市で始めたいと本気で思ってくれる方と一緒に働きたいと強く願って言います。皆さんの熱い思いを面接でぜひお話しください。

Q. 試験に合格した後のことについて教えてください？

- A. 最終合格者は、採用候補者として採用候補名簿に登録されます。任命権者は、採用面接・受験資格の確認を行い、その結果に基づき採用者を内定します。なお、採用については、採用を行う時点における欠員の状況を見て採用するため、最終合格しても採用されない場合があります。

Q. 試験・選考の成績は配属先の決定に影響しますか？

- A. 配属先は、試験・選考の成績が直接影響しません。本人の希望や適性を踏まえ、業務の必要性の状況を考慮して決定しています。このため、最終面接時に希望する職務などについて伺いますが、必ずしも希望どおりに決まるとは限りません。

職場環境や各種制度に関するQ&A

Q. 職員一人一人に対して目標や課題を浸透させる為に、どのような取り組みをしていますか？

A. 伊勢原市においては、庁内最高の協議調整機関である部長会議において、行政の運営全般にわたる重要事項について意見調整、また情報共有を行っています。この部長会議で共有された情報に加え、市長からの指示事項等を踏まえ、部長から直接課長に対して情報伝達するとともに、各所属においても課長から所属の職員に内容を伝達することで全庁的に目標や課題を共有し、取り組みを進めています。

Q. 部署や所属によって組織風土の違いはありますか？

A. 異なる所属であっても、同じ市役所の仲間として働いているので、組織風土に大きな違いは無いと思います。

しかし、部署ごとに必要なスキルや知識は大きく変わりますので、OJTや自己研鑽など、必要知識の習得は必要になります。

また、個人ごとにキャラクターは違うので、職場内でのコミュニケーションを図りながら、職員一人一人の個性を発揮して活躍しています。

Q. 伊勢原市ではどのように人事評価を行っていますか？

A. 伊勢原市では、年に1回の「能力・意欲」に関する評価と年に2回の「実績（業績）」に関する評価を行っています。自己評価から一次、二次の多面的な評価を行い、また、評価結果を本人にフィードバックすることで、人材育成の仕組みとしても活用しています。

Q. 正直なところ、残業はどのくらいありますか？

A. 全庁的な平均では、月に10数時間程度です。行政運営は限られた財源と時間の中で行うため、効率的かつ効果的に行うことが必要です。このため、職員一人一人が自主的に日々の業務を改善し、短い時間で高い生産性を出すように努めています。

一方で、イベント事業の前や課税業務などの繁忙期については、遅くまで残業しなければならないケースも当然あります。

Q. 何かアイデアをひらめいた際に、それを他部署や経営層に提案することは可能ですか？

A. 伊勢原市ではボトムアップの仕組みとして、職員提案制度を設けています。事務や作業の能力向上、経費の節減に関するもの、市民サービスの向上、地域の活性化に関するものなど、職員からの提案を随時受け付けています。受付た提案は、部長職による職員提案審査会で審査を行い、優れた提案については、関係する所属で実施されることとしています。

Q. キャリアアップの仕組みはどのようなものがありますか？

A. 職員一人一人には、それぞれ個性があり、資質や能力に違いがあることを認識したうえで、個性と能力を最大限に発揮できる職場環境づくりに努めています。こうした中、OJTによって各所属長や上位者がそれぞれの職員の経験年数や資質、能力等に応じて、日々の業務遂行のための適切な指示や指導を行い、職員の能力向上に努めています。

また、毎年、職員意向調査を実施し、職員一人一人の得意とする分野や苦手と感じている分野等を把握し、その職員のキャリア形成の参考としています。

これらの他にも、職場を離れた環境で受ける職員研修や、専門的な機関が実施する研修やセミナーなどに職員を積極的に参加させることで、一人一人の能力向上に努めています。